

豊岡河川国道事務所における 道路維持管理の現状と課題

豊岡河川国道事務所副所長
迫 俊郎

直轄管理区間

国道9号【第一次緊急輸送路】

京都府京都市を起点とし、山口県下関市に至る延長約651kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送路に指定されています。



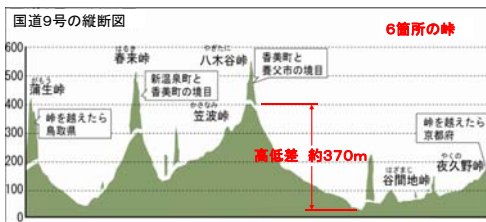
国道483号【北近畿豊岡自動車道】

兵庫県豊岡市を起点とし丹波市に至る延長約70kmの高規格道路であり、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域を直結し、さらには京阪神都市圏との連結を強化し、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。

国道9号の特徴

国道9号の特徴

- 山間部(6箇所の峠)・・・連続するUP・DOWN、カーブが続き、管理が非常に困難な区間を要している。
- 降雨、降雪が多い・・・路面が湿潤している事が多い
- 大型車混入率が高い・・・38.6% (12時間大型車混入率)
※H17センサス 難尾地区



国道9号の現状(その1)

市街地から山間部まで幅広い地形を要しており、特に山間部では周辺にハチ北、神鍋などいくつものスキー場が整備されるなど、積雪の多い地域であり、冬期は積雪や凍結など、管理が非常に困難な区間を有している。

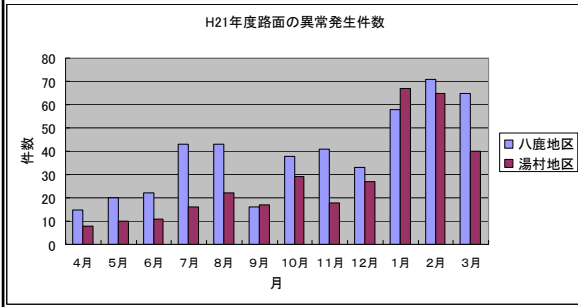
凍雪害対策

凍雪害によるスリップ事故



国道9号の現状(その2)

舗装の劣化によるクラック・辙ぼれにより、ポットホールの発生や近接家屋への水跳ねが問題である。路面の異常(常温混材を用いた軽微な補修も含む)は年間800件、特に冬期間に集中して発生しており、湧水設備による散水等により補修してもすぐに飛んでいるのが現状である。



国道9号の現状(その3)

路面異常のほか、落下物、動物処理などは通年対応してる。



H21年度発生件数

	路面の異常	落下物	緊急対応	苦情		動物処理
				騒音・振動	その他	
八鹿地区	465	280	32	15	18	108
湯村地区	330	287	9	6	14	41
合計	795	567	41	21	32	149

国道9号の現状

クラック発生状況

亀甲状のクラック発生





ポットホール発生
轍ぼれ H=70mm

国道9号の現状

ポットホール発生状況

ポットホール発生





国道483号の特徴

国道483号の特徴

自動車専用道路...
兵庫県北部の但馬地域と丹波地域を直結する高規格道路であり、巡視巡回(パトロール)等の日常管理が非常に重要な道路である。

連結する路線: 播但連絡有料道路・遠阪トンネル有料道路・舞鶴若狭自動車道

交通事故対応...
高規格道路であるため、交通事故が起こると重大事故となる場合が多く、通行止めを伴う交通規制を行い、事後処理・損傷復旧等の対応を迅速に行っていく必要がある。

雪害対策...
遠阪地区を始め、積雪量の多い地域を通る路線であり、また高規格道路でもあるため、除雪作業等の雪害対策が重要である。除雪作業に合わせてタイヤチェーン指導も行っている。

国道483号の現状(その1)

日常の巡視・巡回を1日5回行い、落下物や路面の異常等の早期発見に努めている。また、重大事故となることが多い交通事故の事後処理に早急に対応できるよう努めている。

巡視・巡回(パトロール)



交通事故対応






国道483号の現状(その2)

遠阪地区等は積雪の多い地域であり、除雪作業・凍結防止剤散布に加えタイヤチェーン指導等を行っている。また、PAやトンネル抗口付近で地熱融雪施設も設置している。

車道除雪



タイヤチェーン指導



凍結防止剤散布



地熱融雪施設



今後の課題

ポットホールなど、舗装の異常については、巡視などで発見し対応しているが、巡視・巡回の頻度が減ることにより対応が遅れ、結果、安全性・安心の確保できず事故につながってはならない。

路面状況	→	轍ぼれ、クラックの程度
周辺地域特性の把握	→	市街地、山間部
過年度の補修履歴	→	補修サイクル、補修内容

↓

- ・舗装が悪くなる原因と地域特性を考慮し、
- ・状況に適した補修工法を選定し、
- ・目先の補修だけでなく、次の補修サイクルを考えることで、**コスト削減を計りつつ、最適な補修計画を立案**する必要がある。

その為には、**ポットホール補修の延命化**が必要である